



2020年9月30日
東日本旅客鉄道株式会社
八王子支社

台風等風雨に備えた安全安定輸送の確保に向けた取組みについて

- 昨年の台風19号の影響により、八王子支社管内においてもコンクリート製土留壁崩壊や土砂流入等が発生しました。その教訓を踏まえ被災箇所について復旧および対策工事を実施し、安全を確保する取組みを進めてまいりました。
- 被災箇所以外についても台風シーズンの本格化に備えて、計画的な沿線樹木の伐採を実施し、安定輸送の確保に努めてまいります。

1. 中央本線 高尾～相模湖駅間の復旧および対策工事について

台風19号の影響により発生した中央本線 高尾～相模湖駅間のコンクリート製土留壁崩壊箇所について運転再開後も復旧および対策工事を進めてまいりましたが、今年8月上旬に対策工事が完了しました。

(1) 被害状況

台風19号にともなう大雨により発生した土砂流入により、約40mに渡り、高さ約5mのコンクリート製土留壁が崩壊しました。

(住所: 神奈川県相模原市緑区付近)



コンクリート製土留壁崩壊

(2) 復旧および対策工事について

被災箇所の斜面について以前より傾斜を緩やかにするとともに斜面を強化する工事を実施しました。



災害発生直後



復旧後

2. 計画的な沿線樹木の伐採

倒木による輸送障害を防止するため、これまで同様に計画的な沿線樹木の伐採を行っています。今年度中央本線では約700本の伐採を計画しており、8月末時点で約220本の伐採が完了しています。

【これまでの伐採実績】

線区	2018 年度実績	2019 年度実績
支社管内全体	約 2,370 本	約 2,400 本
中央本線	約 590 本	約 2,150 本



沿線樹木伐採の様子